

「地図豆」の地図を広げて街歩き

## 14-1 ぐるっと護国寺、弦巻川をたどる (距離約 7.5km)

### 【街歩きの概要】

池袋から音羽通りを経て神田川に注ぐ弦巻川とその谷は、護国寺の正面入口付近で本流と支流（水窪川）が同寺を取り囲むように神田川へと注いでいた。弦巻川にこだわって弦巻川跡をたどる。



ビックリガードで

### 【道順】

JR 池袋駅（池袋という地名）→丸池→ビックリガード（弦巻川のかかるた）→威光稲荷・法明寺 →鬼子母神→大鳥神社→清立院・御嶽坂→旧三角寛邸・菊池寛旧邸跡→（雑司が谷地名と）弦巻通り→清土鬼子母神→護国寺→護国寺境内から水窪川（音羽川）へ→吹上稲荷神社→再び護国寺惣門→音羽町（音羽川）へ→神田川（東京メトロ江戸川橋駅）

### 地図豆知識：川跡探しの極意（一部再掲）

過去の風景を現地ですたどるには、河川跡歩きに限らず事前の準備が必須である。そのためには資料収集が必要になり、現在の地形図のほかに、開発が今ほど進んでいない過去の地形図、同空中写真などを用意する必要がある。

関東地方を例にして、参考になるものを新しい順に列記すると以下ようになる。

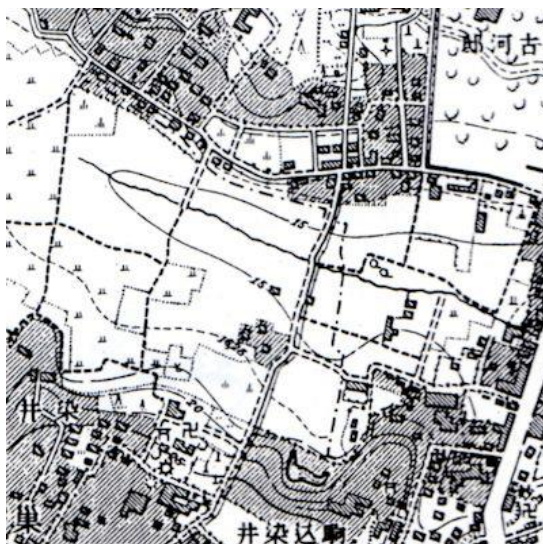
- ・「デジタル標高地形図」（国土地理院）
- ・都市部では、1/10,000 地形図、その他は 1/25,000 地形図(国土地理院)
- ・明治期以降に刊行された「旧版地形図」（国土地理院）
- ・1945 年以降に撮影された米軍写真を含めた空中写真(国土地理院)
- ・第一軍管区地域の測量図「二万分一迅速測図（1880～1886）」(国土地理院)

- ・「五千分一東京図（1884）」（国土地理院）
- ・明治期以降に刊行された「民間地図」
- ・「江戸切絵図」（人文社などの復刻版）
  
- ・「川の地図辞典」（菅原健二著 之潮）
- ・「江戸名所図会」（斎藤幸雄著 角川書店）
- ・「遊歴雑記初編」（十方庵敬順著 東洋文庫）その他興味内容に応じて。

概略のルートは参考書「川の地図辞典」で、更にはデジタル標高データ（地形図）で明らかになる。さらに詳細を知るには、単色の旧地形図上で河川を読み彩色する。あるいは、現地形図の等高線をたどって谷を見つける。そして、必要に応じてお絵かきソフトなどを新旧のデータを重ね合わせると、その詳細が明らかになるだろう。

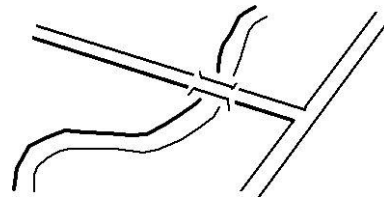
いずれの場面でもデジタルデータを利用することで作業は楽になるが、紙地図を使用した方が等高線の知識が格段に向上するだろう。

さて、下準備をしてから街歩きに出かけるのだが、そのためには、現在の地図上のこの辺りが河跡だろうという予測を立てる必要がある。そのためには地図を読む力が必要になる。現地においても、おなじような読みが必要になる。川跡はしばしば新旧の行政の界になるし、緑道、空き地、曲線を描く細道となることもある。もちろんのこと、川縁の石積み、川へ下りる石段、欄干・橋柱などが小さく残ることもあり、川跡の道には建物が背を向けるだろうから、こうした知識の下で、いい意味での予断をもって探し歩く必要もある。



旧版地形図での河川の表現 1

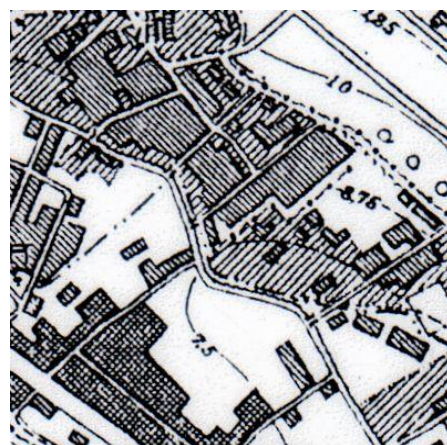
旧版地形図での1条線であらわす河川は「解糸状」に表現されている。また、自然河川は、必ず等高線の凸部（最尖端）を通過する。（1/10,000 地形図 「王子」M42 測量 T5 修正）



旧版地形図での河川の表現 2

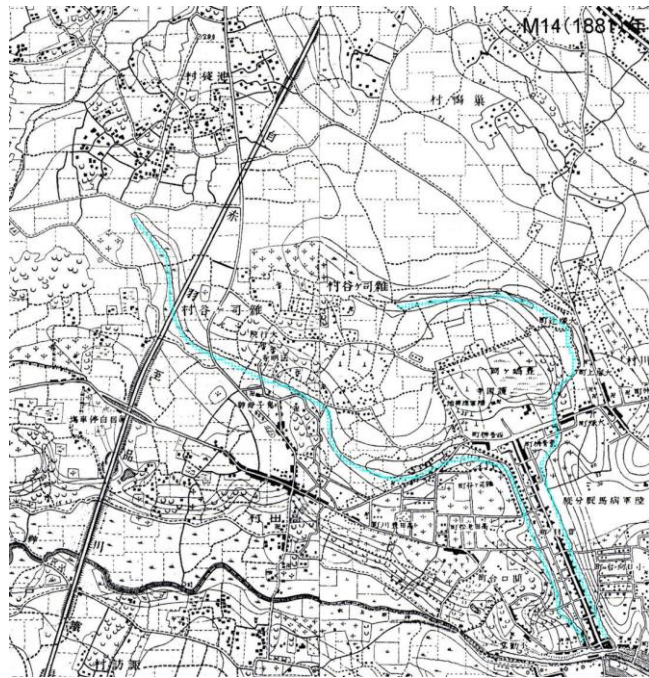
影の付き具合に注目するとわかるが、旧版地形図での2条線であらわす河川（下中央）は北西に光源があるとして凹みがあるものに対する影を付けて表現される。道路（上中央）は、その区分にもよるが凸があるとして表現される。

1条線であらわす河川は、もちろん「解系状」になっている。（1/25,000 地形図「東京首部」T5 測量）



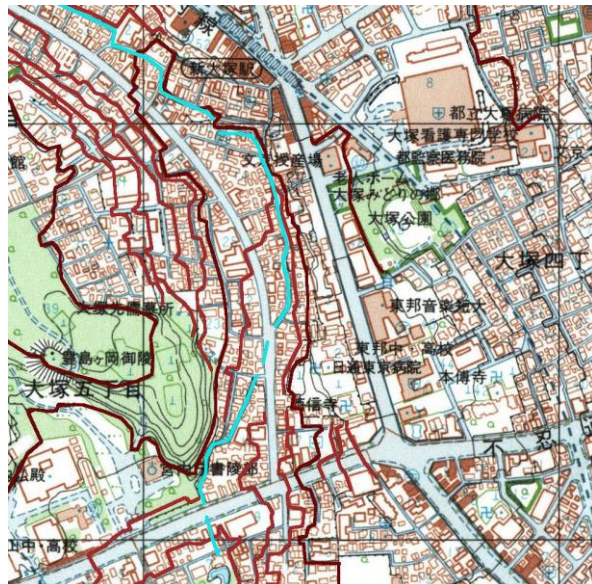
行政の界や道路の不自然な形から河川跡を予想する

現在の地形図（左）にある行政の界や道路の不自然な形から、河川跡が予想できるだろう。はたして、旧版地形図（右）を参照すると現行政界の一部は、後述する墨引きの跡、あるいは（小さな橋の表現などから）河川跡とこれに沿った道路跡であることが明らかになる。（1/10,000 地形図「池袋」H5 修正と「王子」T5 修正）



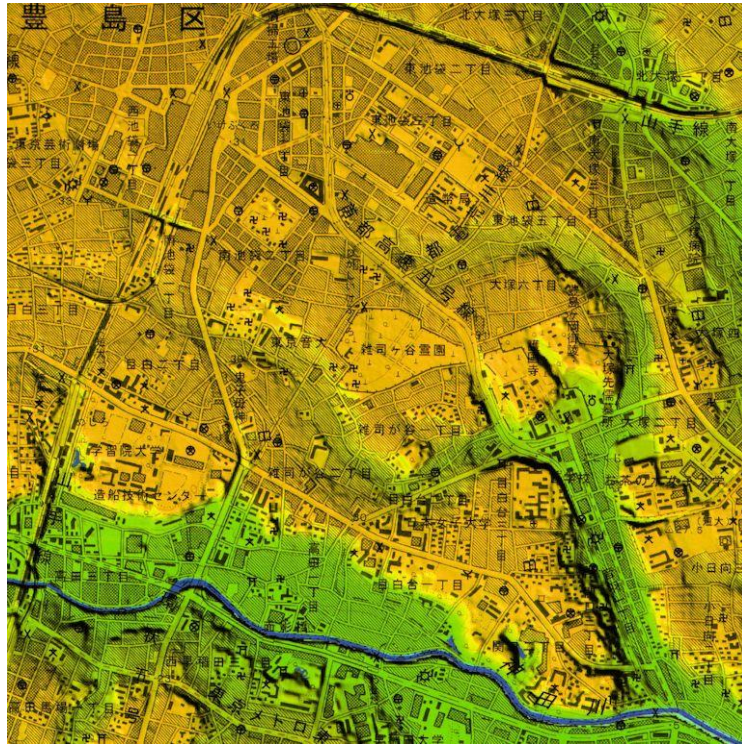
旧版地形図から旧河川を予想する

旧版地形図の解糸状になったが画線（河川＝その下辺などを水色に彩色）をたどれば、弦巻川が見えてくる。（1/20,000 地形図「板橋駅」「下谷区」M14 年測量）



現地形図から旧河川

等高線と道路の形状から谷を見つけて追跡することもできるが？ かなりの地図知識がないとやや難しい。（1/10,000 地形図「池袋」に加筆）



「デジタル標高地形図」から旧河川

これなら、誰にでもおおよそその谷のようすが明らかになる

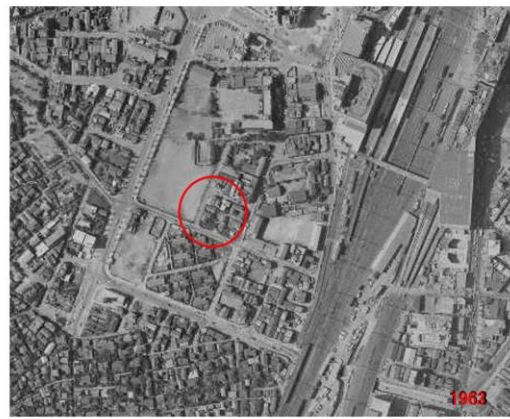
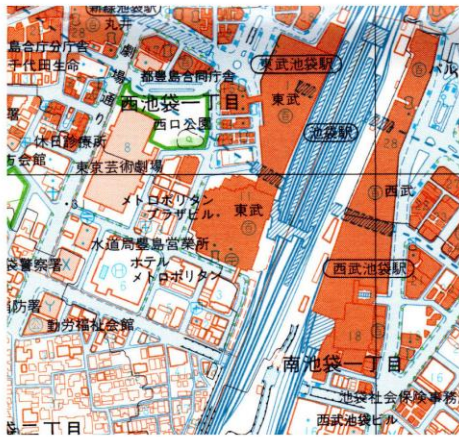
### 【街歩き解説】

#### ①池袋・丸池

池袋の西口には、「このあたりに、多くの池があったことから、池袋の地名になった」という説明板があるが、実際は袋状になった地形からだと思われる。

現在の池袋駅南の通称池谷（池谷戸 いけやと）には、その名の通り大きな池があり、形状から丸池と呼ばれていた。「遊歴雑記」文化11年（1814）には、「当村を池袋と号けし事は、往古夥しき池ありしによつて也、中古より段々埋まりしかど、今もなお三百余坪もあらんや。此の池の西の果ては、池袋と雑司谷の境ひにありて、常に进水湧出し流る、此池今は雑司谷村に属す」などとある。

そして、「このあたりに、多くの池があったことから、池袋の地名になった」という説明板があるが、実際は袋状になった地形からだと思われる。弦巻川の水源とされる、この丸池から初めて、流れに沿って江戸川橋まで下る。



丸池付近（1946年、1943年、1963年の空中写真と地形図）

狭小であることから明治期の地形図などには、池が表現されていないが、終戦直後には矩形になった小さな池が存在していることがわかる。1963年の写真では、すでに池が埋め立てられて住宅地になっている。

## ②ビックリガード（弦巻川のかかるた）

荷馬車の時代に、天井も低く頭上を通る列車の轟音と震動で、人も馬もビックリ仰天したことから、この名がついたという。ガード南の壁面には、雑司ヶ谷の地誌に触れた、いろはかるたが描かれている。

弦巻川の名称には、源義家（頼朝とも）が此の地で戦い、弓の弦を巻いたことによる、との説がある。一帯の昔の字名は、丸池から先は池谷戸といい、西側から合流する谷筋を西谷戸と呼んだ。さらにこの先は中谷戸と呼ばれて、流れは西武線を横断する。



ビックリガードと西武池袋線を渡った後の弦巻川跡（左の道）

### ③威光稲荷・法明寺

西武線の高架を通過したのちY字路左の道を進み弦巻川歩きは、本格化する。蓮光院、玄静院付近で行き止まりになるが、その後法明寺を経て、真乗院へ回り込むと、再び旧河道らしい道が始まる。法明寺は、参道の桜と墓（あさがお）塚が特徴的である。墓塚は、酒井泡一作の朝顔の絵に添えて、「墓や くりから龍の やさすがた 富久」とある。

### ④鬼子母神

本尊は、永禄4年（1561）清土の地より掘りだされたもので、清土鬼子母神境内にある星の井で清められたのちに納められた。当地に、鬼子母神堂が建てられたのは天正6年（1578）だという。安産・子育ての神様、鬼子母神の境内には、樹齢600年の大公孫樹がある。「大門通り櫨並木」のあたりを、宿坂から続く鎌倉街道が通っていた。

そして、鬼子母神の西側から、もうひとつの谷筋が合流していたことが等高線から読みとることができる。



鬼子母神と地形図に見える鬼子母神西の谷

### ⑤大鳥神社

境内には、昭和6年（1931）の下水道施設記念碑があって、このころから弦巻川の暗渠化が始まった。河道は、大鳥神社に沿った弦巻通とすることも考えられるが、高低差などから弦巻通とするには無理があって、やや北の都電高架下の道になる。

清戸坂の北側、現在の雑司ヶ谷墓地は一部の坂道ぞいには雑司ヶ谷清戸村百姓町があり、江戸への野菜供給基地として辺りが江戸への野菜供給地であったことを示すJAによる「雑司ヶ谷ナス」を紹介する看板がある。じっさい、「江戸切絵図」にあたりは緑々とした畑が広がる。



鬼子母神から護国寺にかけて（「江戸切絵図」人文社）

#### ⑥清立院・御嶽坂

江戸時代は、この辺りに鷹狩り用の鷹を飼育する「御鷹部屋」が設けられていたという。

御嶽坂下には、弦巻川に石橋をかけた記念として、1733（享保18）年に建立された「石橋記念石塔」がある。左側面の文字は「當所石橋施主木村氏」と読める、また、古文書には「寛保二年戌年木村某と申すもの当時の石橋掛替仕、其節より木村橋と愛唱申候」とあるといい、河道はここから南へ折れる。



「石橋記念石塔」



⑦旧三角寛邸・菊池寛旧邸跡

黒塗りの塀が特徴的な建物は、昭和初期の山窩小説家（定住することなく、山間を移動しながらの生活形態をとった人を扱った）で、ベストセラー作家でもあったという三角寛（1903-1971）邸宅である。向かい側には菊池寛旧邸跡の碑もある。



旧三角寛邸と弦巻通り

⑧（雑司が谷の地名と）弦巻通り

法明寺、あるいは小日向金剛寺の雑司料（税や物資を納める支配地）だったから、あるいは宮中で（雑用をつかさどる）雑士だったものが当地に移り住んだことからだといわれている。弦巻通りは、弦巻川の蛇行のまま発達している。



清土鬼子母神の三角井戸



清土鬼子母神辺りの地形図

弦巻通りを左右に横切る区界がほぼ弦巻川跡である

#### ⑨清土鬼子母神

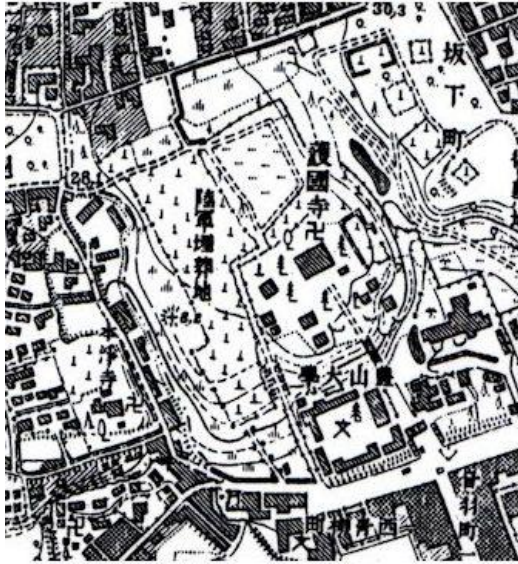
区の境が弦巻通りから外れ、南側に蛇行しているところに、清土鬼子母神（お穴鬼子母神）がある。鬼子母神のご尊像は、永禄4年1月16日に、この地で掘り出され、境内にある三角井戸で清めたのだという。三角井戸は、「星の清水」「星跡の清水」「星の井」などとも呼ばれた。さらに続く河道の小路には、今は珍しい清水が流れる井戸もある。



弦巻川跡に残る井戸とその道筋

#### ⑩護国寺

護国寺は、五代将軍徳川綱吉公の生母桂昌院の発願により開山し、天和2年（1682）年に完成した。本堂向かって右手には大隈重信や三条実見、山県有朋墓などがある。また、手前仏具店前には「陸軍省」の刻みがある境界標石がある。旧地形図を見ると、このあたりに「陸軍埋葬地」とあって、軍関係の墓地であった。



護国寺（/10,000 地形図「早稲田」M42 測図）と陸軍省標石

#### ⑪水窪川（音羽川）へ

江戸切絵図の時代では、護国寺から先で、現東池袋再開発地付近を源とする水窪川と合流して音羽町を南下していた。その後明治期以降は、弦巻川と水窪川それぞれのが、護国寺通りの東西に分かれて流れて神田川（江戸川）へ注いでいた。

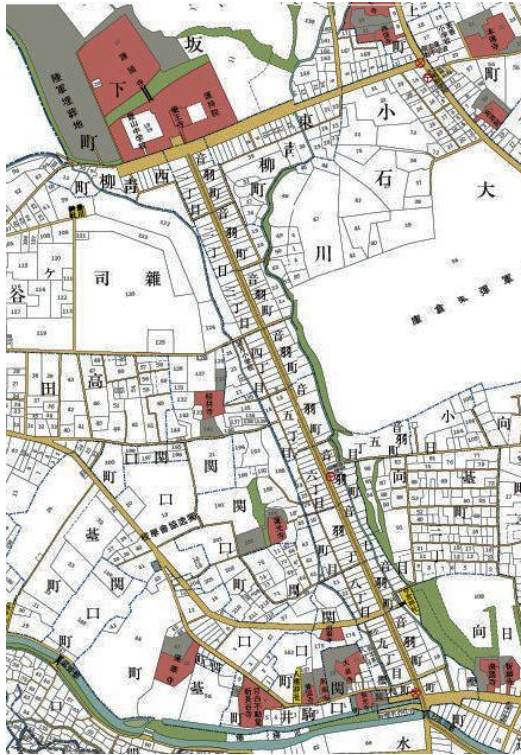
東池袋再開発地からの水窪川河道は、春日通りの崖下を大きく湾曲して流れ、吹上稲荷神社、護国寺惣門付近を経て、音羽の崖下から神田川と続く。大塚（六）から坂下通東にかけての道筋を注意深く見ると、旧河道を思わせる側壁が多く見られる。



東池袋5丁目と坂下通りあたりの水窪川跡

#### ⑫吹上稲荷神社

江戸城紅葉山吹上御殿にあって、東稲荷宮と称していたが、後に移転をくり返し、明治45年にこの地に移転したのだという。江戸切絵図による水窪川（音羽川）は、こののち護国寺の塀に沿って続き、富士見坂をまたぎ、その先で弦巻川と合流し、音羽通りに沿って南下していた



護国寺前通りを東西に流下する弦巻川（「明治地図」goo 地図）



音羽通りの西を南へ流下する弦巻川（跡）

⑬再び護国寺（惣門）

元禄年間の建築で、寺院の門と住宅の門の性格をあわせもったものだといい、江戸時代武家屋敷門の形式と威容をもっている。



吹上稲荷神社と護国寺

#### ⑭音羽町へ

お茶の水女子大下を経て、音羽町へ向かう。音羽町崖上には、鳩山一郎氏の邸宅を記念館とした鳩山会館（音羽御殿）があり、一般開放している。そして、近くに田中八幡宮があったことから八幡坂と呼ばれるあたりに、8代将軍徳川綱吉公の生母桂昌院の発願により護国寺を建立した際に、京都の今宮神社から分霊を迎えて開かれたのだという今宮神社などがある。

さらに、今宮神社を過ぎてから、武蔵野台地の縁に当たる擁壁から一筋の湧水が流れている。その先には、都市景観賞を受賞したという鷺坂があって、その坂の名の通り美しい。坂の名前は、辺りに関宿藩主久世家の屋敷があったことから久世山と呼ばれていて、これと万葉集に詠われた「山城の久世の鷺坂」をかけて呼ぶようになったという。

山背の 久世の鷺坂 神代より 春は萌りつつ 秋は散りけり



音羽通りの東を南へ流下する弦巻川（跡）と鷺坂

#### ⑮神田川（江戸川橋駅）

今宮神社から南下した水窪川は、江戸川橋東にある水道会館付近の神田川に流れ落ちていたと思われる。現在の暗渠（雑司ヶ谷幹線）は、音羽通りの下を流れて神田川に注いでいる。



音羽通り東の湧水と神田川へ注ぐ弦巻川暗渠

#### 14-2 ぐるっと護国寺、弦巻川をたどる（距離約 6.5km）

##### 【道順】

00JR 池袋駅（の地名）→01 丸池 →02 ビックリガードと弦巻川の名称→03 威光稲荷・法明寺 →04 鬼子母神→05 大鳥神社→06 清立院・御嶽坂→07 三角寛邸・菊池寛旧邸跡 →08（雑司が谷地名と）弦巻通り→09 清土鬼子母神→10 護国寺→11 水窪川（音羽川）へ→12 護国寺惣門→13 音羽町へ→14 神田川（東京メトロ江戸川橋駅）

#### 14-3 地図を広げてぐるっと 護国寺、弦巻川をたどる（距離約 4.5km）

##### 【道順】

00JR 池袋駅（の地名）→01 丸池 →02 ビックリガードと弦巻川の名称→03 威光稲荷・法明寺 →04 鬼子母神→05 大鳥神社→06 清立院・御嶽坂→07 三角寛邸・菊池寛旧邸跡 →08（雑司が谷の地名と）弦巻通り→09 清土鬼子母神→10 東京メトロ護国寺駅

# ルートマップ



+ \* \* \* +

オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu

+ \* \* \* +